

CSR レポート2017

報告期間：2016年4月1日～2017年3月31日

揖斐電電子（北京）有限公司

北京経済技術開発区栄昌東街15号
 邮编：100176
 TEL：010-6788-2288
 www.ibibj.com.cn

揖斐電電子（北京）有限公司

目次

董事長挨拶----- **P3**

IBIDEN グループの CSR 経営----- **P4-P5**

内部統制----- **P6-P7**

人材経営----- **P8-P13**

環境経営----- **P14-P17**

社会貢献----- **P18**

会社概要----- **P19**



董事長挨拶

より良い社会、また持続的な成長を実現するため、CSR を事業活動とより深く統合し、更なるレベルアップへ向け、積極的に推進していきます。



積極的に環境改善を行います。

当社は地球温暖化の防止のための CO2 削減、リサイクル率の向上などに加え、たゆみなく環境負荷を改善したプロセスで製造した製品を提供し、省エネ、排出削減活動を実施し、クリーン生産を柱にした生産活動を行うことで、地球環境保全の貢献に努めてまいります。

真のマネジメントと全員経営の実現を図ります。

100 周年を機にまとめ直されたイビデンウェイの精神に従い、私たち一人ひとりが会社の持続的な発展のため、活動してきました。継続して活動する中でチームワークもよくなり、より高い目標に向かい、大きな成果へとつながります。そこに今年度は「クロスセクション・チームワーク活動」を推し進めて、本当のマネジメントと全員経営を実現していきます。

グローバル CSR 経営を体系的に取り組みます。

イビデングループはイビデンウェイ、イビデングループ行動憲章に基づき、事業を通じて社会と信頼関係を構築できるように、経営の信頼性と透明性を高める活動に取り組み、ルール遵守のための企業風土の醸成の真の CSR 経営の実践を図り、永続的に存在し社会の発展に貢献することをめざす。

董事長: 河島 浩二

IBIDEN グループの CSR 経営

IBIDEN WAY --イビデンの企業理念--

イビデンの長い歴史における、「幾多の困難を全員で乗り越え、イビデンを存続させてきた力」と「近年の飛躍的な成長を実現させた英知と活力」。これを、世代や国籍を超えて受け継がれるように体系化したものが「イビデンウェイ」です。

2012 年 11 月の創立 100 周年を機に、よりシンプルで、世界中のイビデングループ従業員誰にでも理解できるよう、このイビデンウェイを刷新しました。



企業理念 (MISSION)

私たちは人と地球環境を大切にし、革新的な技術で、豊かな社会の発展に貢献します。

共同行動精神 (SPIRIT)

誠実：Trust through Integrity

和“Wa”：Teamwork & Synergy

積極性：Challenge with Passion

IBI-TECHNO 革新：IBI-TECHNO innovation

CSR 経営構想と推進体制

近年企業をとりまくステークホルダーのCSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）に対する関心の高まりから、企業でのCSR活動、ひいてはサプライチェーン全体でのCSR活動が本格化しています。

イビデングループは、企業理念体系「イビデンウェイ」のもと、お客さまの満足を獲得し、またステークホルダーとのよりよい関係を構築していくためには、お取引先さまとのより一層の協力、連携が不可欠であると認識しています。ともにCSR活動を推進することが、企業価値の向上、サプライチェーン全体の持続的な成長につながるものと考えています。

【CSR推進体制】

当社は、CSR 活動の推進部門を経営企画部に設置しています。また各部門に推進責任者を任命し、所管部署におけるコンプライアンスの推進などの CSR 活動、コンプライアンス実践の監督、所属メンバーに対する教育の実施などを行っています。このほか、リスクマネジメント推進委員会の運営、社会貢献活動の企画と実施、EICC（電子業界行動規範：Electric Industry Code of Conduct）など国際規範に沿って進化しながら、CSR マネジメントの強化を図っています。

また CSR マネジメントの強化には、社員一人ひとりの CSR 意識の向上が不可欠であると考え、CSR の重要性を浸透させるためにも継続的な啓蒙教育を実施しています。

4

内部統制

持続的な成長による企業価値の向上、コーポレートガバナンスを実現するため、そのベースとなる『業務の適正を確保する仕組みづくり』（内部統制）が経営の重要課題として認識し、グループ全体において積極的に取り組んでいます。

IBIDENグループはコーポレート・ガバナンスを行う目的が「コンプライアンス及びリスクマネジメント推進活動」を積極的に展開することにより内部統制機能を強化し、社会からの信頼に応える透明な企業統治体制を構築することです。また、IBIDENグループにおける「内部統制」とは、グループ会社の健全経営のために、全社員が自発自主で会社のコーポレート・ガバナンスの仕組みや体制を確立することにより業務の有効性及び効率性を高め、事業活動に関わる法令や規範を守りながら、資産の保全や信頼性がある正しい決算報告書、財務報告の作成が可能になり、日常の業務を的確に行うことであります。

【コンプライアンス推進活動】

当社は「コンプライアンス推進委員会」を設置し、総経理を委員長として、コンプライアンス意識を全社員に広めます。委員会ではコンプライアンス会社活動の推進状況をまとめて報告、活動の評価審査を実施、方針・計画を決めて、そしてそれに基づいて活動を展開します。

コンプライアンス推進委員会は、毎年2回開催し、2016年度は6月と12月に開催しました。

コンプライアンス教育：コンプライアンス活動を推進するために、継続的に社員の意識を高いレベルに維持することが不可欠です。そこで、社員のコンプライアンス意識を向上するために、各課はコンプライアンス個別活動を実施し、毎月業務の遂行に係る法律法規要求と社内規程制度、日常業務に関するCSR活動及び社員行動基準について持続的な教育や訓練を行っています。2016 年度、当社はビジネス秘密管理規定を修訂して、ビジネス管理標準を一層強化しました。ステップを分けてISO27001情報安全管理体系を構築し、ビジネス秘密の管理レベルを更なる向上しています。

コンプライアンス遵守チェック：2009年下期からコンプライアンス遵守チェック活動が実施され、ISO14K及びOHSAS18Kのコンプライアンス評価規程に基づきコンプライアンス遵守チェックを実施する以外、経営企画部は毎年7月に各関連部門において法律法令の遵守状況を評価し、そして2017年度からSA8000体系の規定に基づいてしっかり執行し、不具合が発見するとその都度是正し、法律遵守の向上を図っています。

内外部監査：経営企画部は内部監査を執行、そして窓口として外部(顧客、本社)監査を対応します。内部監査では社員との面談や帳票類の査閲により内部統制の強化を図っています。内部監査の結果は本社監査室にも報告し、グループ全体の監査体制の実効性を強化しました。外部監査では全社でコンプライアンス、財務、資産等あらゆる分野で監査を実施し、実際の業務上の不具合を発見すると、社内においては是正措置を講じて、弛まず改善を行います。

6

【行動憲章】

第1条：法令および倫理の遵守

各国、各地域の法令および倫理を遵守し、あらゆる形態の腐敗防止に取り組み、オープンで公正な企業活動を通じて国際社会から信頼される会社をめざします。また、個人情報・顧客情報をはじめとする各種情報の保護・管理を徹底します。

第2条：ステークホルダーとともに発展する会社

ステークホルダーとともに発展していく会社として、経営の透明性を高め、コミュニケーションを通じた信頼関係を構築します。また、良き企業市民として、地域に根ざした社会貢献活動に積極的に取り組みます。

第3条：お客さまへの感動の提供

お客さまに感動を提供するため、社会の将来にわたる要求・動向を正しく理解し、イビテクノを進化させることで、お客さまの満足が最大になる安心・安全な商品の創造やサービスを行います。

第4条：グローバル化に対応した経営

グローバル化に対応した連結経営を推進するとともに、企業活動を行ううえで、人権を含む各種の国際規範はもとより、各国、各地域の文化・慣習を尊重します。

第5条：地球環境との共存

全ての事業活動で地球環境との共存をめざし、環境と経営を両立する技術の開発と普及に努めるとともに、省エネ・省資源活動を積極的に進め、環境に優しい商品・サービスを提供します。

第6条：魅力的で活力にあふれる会社

魅力的で活力にあふれる会社をめざして、公平公正な評価が行われる人事制度と安全で働きやすい環境を柱に、多様性を尊重しあい、一人ひとりの能力が最大限に発揮できる、社員にとって働きがいのある企業風土をつくります。

【CSR 方針】

責任ある誠実な行動が持続可能な事業につながるという認識を深め、バランスよく経済的項目・環境的項目・社会的項目の責任を果たし、すべてのステークホルダーと共生することによって企業価値を向上させます。

<CSR 経営の概念図>



内部統制、人材経営、環境経営、社会貢献の4つの視点から幅広い領域で活動を展開し、ステークホルダーの皆様と信頼関係の構築をめざします。

5

情報安全管理体系：情報安全管理体系の構築は企業自身の情報安全管理レベルの更なる向上に役立ち、経営活動のリスクを低減できるし、信頼できる制御対策を採用してお客様の各ご要望にも応じさせます。2016年末からコンサルティング会社と多社相談して、体系の構築に取り掛かります。2017年末にISO27001国際認証を取得する見込みがあります。

【リスクマネジメント推進活動】

基本方針

経営を取り巻く各種リスクを分析し、事業の円滑な運営に重大な影響を及ぼす経営資源の損失を的確に対処することにより、株主、顧客および役職員等ステークホルダーの安全と経営資源の損失低減および再発の防止を図って、そして会社経営の継続を可能にします。

当社では当該基本方針及びリスク管理規程に基づき、半期毎にリスク管理目標を設定し、リスク項目毎に責任部署を設置し、リスクマネジメント推進活動を積極的に展開しています。また、定期的にリスクアセスメントを行い、経営に重大な被害をもたらすテーマを重要テーマとして、リスクを低減し、持続で安定的な会社経営を確保しています。2016 年度は積極的に顧客開拓及びキャパの拡大を行い、社員への関心を重視し、離職率を削減することで会社の経営リスクを低減する、それから危険廃棄物の削減及び省エネで環境リスクを低減するリスクアセスメント活動を行いました。

上記従来通りの会社管理関係のリスクマネジメント以外に、2016年度は更に労働者人権及び商業道德リスクマネジメントを展開して、SA8000体系を整備しています。顧客要求に对应しているだけでなく、自ら会社CSR活動管理水準の向上も実現しました。

7

人材経営

揖斐電北京は「人間本位・コンプライアンス管理」を一貫する人的資源管理理念に従って、絶えず人的資源管理体系と制度の最適化を求め、社員の成長と発展ができるプラットフォームを構築、スキルと管理能力を向上させ、社員を主人の姿で会社の管理に参与させることを促進、社員の勤務時間外の生活を豊富にさせます。持続的に社員の満足度、達成感とモチベーションを高めて、社員を企業と共に発展させることを図ります。

社員の成長を助力

当社は社員に整備している「ダブルタワー式」の人材育成発展プラットフォームを提供、人材戦略方針を巡って、社員の素養や業務能力の強化と人材チーム構成の最適化に重点を置いて、異なる職場・チーム・能力・年齢の社員に対して、全面的に社員教育を強化、ニーズに合わせる専門技能と総合能力を向上する教育を実施します。社員の成長に堅固なサポートを提供し、企業と共に成長することの実現を助力します。

2016 年度には内部社員に教育を 9469 延べ人数、103470.5 時間、158 項目実施しました。その中に主に管理類教育、技術類教育、現場班組長教育、職業化教育という 4 種類があります。各層級の社員のニーズに合わせる教育課程体系を整備し、教育形式と課程内容を豊富し、社員の業務能力と管理レベルをアップしました。



図 1：管理類—領航計画ロールプレ管理教育



図 2：職業化—みんなの前でスピーチする技巧教育



図 3：技術類—問題解決の手法教育



図 4：班組長-現場主管者トレーニング合宿

現場社員と技術者は我工場が一番肝心な人材であります。持続的に業務技能を上昇させるために、当社は経験をまとめ、構想を革新、会社級の第 2 回の「職場訓練、技能競合」活動を展開しました。業務技術を鍛えただけではなくて、模範も樹立し、社員の自ら向上する意識も呼び起こしました。技能競技大会は練習から試合まで 3 ヶ月間経ています。各部門は職場、工程によって、72 項目の試合を展開しました。参加人数は 500 余りで、22 項目の業務模範を選出しました。

なイベントを次々と主催しました。社員の平日に緊張した作業でたまったストレスを解消できるだけではなくて、一方、チームの団結力と社員の帰属感も強化しました。



図 11：三八婦女節手作り花作る活動



図 12：春季風節活動



図 13：趣味運動会—プランク（plank）試合



図 14：趣味運動会—手玉投げる試合



図 5：職場訓練—Excel 技能決勝



図 6：職場訓練—液分析試合



図 7：職場訓練—フォークリフト競技



図 8：職場訓練—治具解体組立競技

「革新な技術」はイビデン企業理念の要素の 1 つであります。社員の革新意識を喚起するために、当社は優秀な模範を評価、推薦し、社員の皆さんの技術革新の積極性と主動性を盛り上げています。環境技術改善組組長陳志貴さんをリーダーとして成立した「環境排出削減革新ワークショップ」は省エネ・排出削減・技術改造・コストダウン・環境負荷低減等課題を巡って、技術の難関を攻めて、会社の経営発展中のコストと環境問題を解決した、会社の持続的な発展を確保しています。2016 年度、百社の会社の中に BDA 労働組合に区級の「社員革新ワークショップ」に評価されて、市内の 176 社の革新ワークショップの中から北京市級の革新ワークショップ候補に入選されて、北京市級の「社員革新ワークショップ」に選ばれました。



図 9：現場専門家見学指導



図 10：市級選評発表会専門家との記念写真

ヒューマンケア活動の展開

当社は社員の勤務外時間の文化娯楽生活を重視します。社員の歓迎を受けられる豊多彩な文化娯楽体育イベントを積極的に催し、多角度多方面で企画、社員の熱意を燃え、社員の活力を盛り上げます。今年は趣味運動会、三八婦女節活動、春季風節、新年会等形式が多様、内容が豊富

【TPM 推進活動】

TPM 人材教育活動: 企業体制を改善、管理者の自主管理能力を向上するために、会社中高層管理者に対して「自工程完結活動手法」教育を実施しました。M-SAP 新工芸導入した後、新設備の自主保全管理活動を協力するために、「新設備で如何に自主保全活動を展開するか」を巡って、製造部班組長以上の管理者に対して教育を実施しました。

活動紹介：



「自工程完結活動」教育



「新設備自主保全活動」教育

TPM 指導活動: 会社トップ指導者や TPM 活動専門家を誘って、定期的に TPM 各基幹部門の管理者や社員に TPM 活動に関して指導し、持続的に TPM 活動レベルを向上します。

活動紹介：



總經理現場指導会



TPM 活動専門講師指導会

TPM 改善活動: 全員参加で、設備機能向上、歩留まり高め、コスト削減、CT 短縮等を巡って、会社内部の自主改善活動を展開します。

活動紹介：



メッキ工程自主保全小グループ改善会



エッチング工程管理者改善会

TPM 交流活動：定期的に会社内部 TPM 自慢大会、年度 TPM 表彰大会を開催すること及び集团会社の年度世界 TPM 交流大会に参加することを通して、絶えず TPM 活動中の優秀事例、管理経験をまとめ、そして横展開を行います。全員の TPM 改善視野を広げて、会社全体の改善レベルを向上します。

活動紹介：



2016 年 4 月自慢大会



2016 年 9 月自慢大会



2016 年度会社 TPM 大会



2016 年度 TPM ワールド大会

2016 年に展開した TPM 改善活動で多くの部門は製品品質の改善を行った結果、年度歩留まりは目標の 94%以上に達成し、毎月平均故障件数は 42%削減しました。現地購買、保全自掛り、コスト削減の拡大を通して、去年度より、今年度はコストが 43.4%削減しました。一方、M-SAP 工芸を順調に導入するにつれて、ファイン化製品の量産を実現し、予測以上の歩留まりに達成しました。銅回収、汚泥減量、排気削減等環境改善活動を実施して、環境に及ぼす影響を低減した、政府及びお客様に環境と品質の面でより高く評価されました。

12

環境経営

基本方針

「IBIDEN WAY」に基づいて、全員参加の環境負荷低減活動を通して、会社の経営活動が地球環境に及ぼした影響を削減、次代企業に伝えられる役割を果たし、地球環境との共存を図ります。

【環境活動】

厳しくなっている環境汚染に従って、政府は各企、事業団体に対する環境保護での要求もますます厳しくなっています。企業の社会責任を果たすために、当社は持続的に環境の改善活動を推進、年度環境方針の目標を設定して、「環境リスクの軽減」「省エネ・資源リサイクル」「環境教育」を活動の柱として、全員参加の会社競争力の向上に取り組む環境保全活動を展開しました。当社は積極的に新工芸、省エネ、排出低減の新方法を検討し、上級政府機関の要求に応えます。

1、全員参加で環境負荷削減活動を実施、資源エネルギーの利用効果を高めます。

(1) 会社は清潔生産活動を主導として、工法技術のアップグレード・原材料使用の減少・エネルギー消耗の削減・廃棄物の減量化を持続的に推進します。2016 年に第 1 工場は M-SAP 工芸アップグレードが始まって、生産調整をやってきました。2017 年に正式的に生産に入れて、より理想の環境負荷削減成果をあげることを期待しています。

(2) 2016 年当社は危険廃棄物減量、省エネ排出削減等改善活動を実施して、成果を上げています。会社の持続的な経営と長期的な発展にしっかり土台を築いて、北京市の環境改善に貢献しました。

① 新工芸での汚泥溶解、ドライフィルム残渣やフィルター減量化等の改善活動を通して、危険廃棄物の産出量を毎年 4000 トン以下にコントロールして、2015 年度より、10%削減しました；

② 薬液の容器に無害化処置を実施、毎年 175 トン削減、2015 年度より 90%削減しました；

③ 水酸化カルシウム缶を取消、毎年エネルギーを 4.8 万 KWh 削減、2015 年より 100%削減しました；

④ 省エネと温室効果ガスの排出の削減改善：冷凍機、モーター等の省エネ改善活動を実施して、炭排出量は政府の指標より、2770 トン減少しました。

2、環境コンプライアンス管理を強化、環境リスクを削減、環境管理でお客様の満足度を高めます。放流水のオンラインモニタシステム・環境情報オープンシステムを整備して、環境情報の同時公開を実現します。

3、製品に存在している有害化学物質の管理を整備、サプライヤーのグリーン調達調査及び評価を実施します。年 2 回サプライヤーに対してグリーン調達調査を実施、サプライヤーの環境管理システムの構築及び実行状況に関する審査を行います。仕入品に存在している有害化学物質の適当性を評価し、有害物質に対して各項目の管理指標はシステムの管理要求に合わせるかどうかをチェックします。

4、全員の環境意識を高め、環境重点職場の作業者の業務技能を強めます。

エネルギー管理の面で、会社は省エネ改善グループを成立して、省エネ改善活動を推進します。主に

14

【安全健康活動】

労働安全衛生基本方針

私達は「IBIDEN WAY」に基づいて、全員参加の労働安全衛生活動を通して、会社の経営に参加している全員の生命に脅威になる要因及び健康に不良影響になる要素を最低限に低減することを基本方針として、労働安全衛生と会社経営活動の調和を図ります。

安全衛生環境委員会：総経理は委員長として毎月定期的に会議を開催、管理部門課長級以上及び生産部門係長以上の管理者と社員代表は委員会委員として会議に出席、安全環境部門からの当月の安全環境指標の推進結果を聞きながら、安全環境の重点事項を検討するという安全環境の面で最高級の会議であります。

安全生産月活動：6 月は年 1 回の国家安全生産活動月であります。安全月期間に、当社は BDA 安全知識クイズ大会、安全員教育、安全に隠れている危険の洗出し等一連の安全活動を展開しました。社員 1700 余りの人は活動に参加しました。今回、当社が派遣した代表チームは BDA 安全知識クイズ大会で第 2 位の良い成績を取得しました。会社の安全環境クイズ活動は累計 900 人が参加した、効果的に安全生産の知識を宣伝、普及しました。安全員教育は 6 回を分けて実施し、新しく就職した安全員を 161 人育成しました。上述の活動を通して、社員に安全生産に対する認識を一層高めさせました。会社に濃厚な安全生産雰囲気を作り上げています。

「0 労災 0 職業病」は会社の年度安全生産目標で、目標を達成するために、新入社員の三級安全教育、定期的な作業場所環境検測、それから全員参加の事故対応緊急訓練をしっかりと実施するのは相変わらず日常業務の重点であります。社員の安全生産意識を向上することに着手して、豊富多彩な安全活動を展開します。安全生産の理念を社員のところに深く染み込ませて、会社の長期的な発展が順調に進めるように護衛します。

当社は 2016 年度に百万労働時間の労災発生率が 0.49 で、病因での欠勤率が 0.31 で、健康体検に参加したのが約 975 人です。

当社は過去の実績を踏まえて 2017 年度職業安全衛生目標の各指標を設定しました：

1. → 労災発生頻率（百万労働時間）	0
2. → 労災嚴重ランク（百万労働時間）	0
3. → 火災ヒヤリハット発生回数	0
4. → 病因での欠勤率（累計）	<0.35

以下は会社の一部分の安全健康活動：安全環境知識クイズ、安全員教育、安全月キックオフ大会等の活動です。



安全環境知識クイズ



安全員教育



安全月キックオフ大会

13

- (1) 毎月本社と共同に省エネの進捗状況を確認、他の工場の省エネ優秀事例を共有します；
- (2) 毎月省エネ委員会を開催、省エネ活動の進捗を報告します。そして指導者に次のステップの省エネ活動と日程を安排していただきます；
- (3) 省エネ目標を設定、定期的に目標の達成状況を確認します。目標を達成していない項目を調査して改善案を作成します；
- (4) 定期的に会社の省エネ活動を展開し、社員の省エネ意識を高め、省エネ改善を推進します。

【省エネ改善事例】

省エネ改善は基盤活動、技術改良という 2 つ方面から改善活動を展開しています。

(1) 2016 年度基盤活動改善：

- 第 1：季節によって、新風を調整、エネルギーの消耗を最大限に削減します；
- 第 2：生産設備に新風の供給を削減、同時に生産ラインと現場等を密封処理して、酸霧の排風量を低減します；
- 第 3：空圧機に定期的にメンテナンスを行い、消耗性備品を交換、運行効率を向上します。

(2) 技術改善：

- 第 1：第 2 工場吸収式冷凍機セットを超高効のターボ冷凍機セットに変更します；
- 第 2：第 2 工場 1#配電室の 4#変圧器（1600KVA）を一時停止します（2016.7.1-2017.2.28）；
- 第 3：第 1 工場脱水機に加圧装置を増設、汚泥の水含有率を低減します；
- 第 4：スクラパーのインバータを改善、運行頻率を低減します；
- 第 5：第 1、2 工場新風機にインバータを増設、風機の運行頻率を低減します；
- 第 6：一般排風の排風量を半減します。

【重点改善項目 1-第 2 工場吸収式冷凍機セットを超高効のターボ冷凍機セットに変更】



改善前：吸収式冷凍機セット



改善後：超高効のターボ冷凍機セット

15

【重点改善項目 2ー第 1 工場脱水機に加压装置を増設、汚泥の水含有率を低減】



【環境負荷関連データ】

(1) 2009-2016 年 CO2 排出状況



(2) 2009-2016 年水道水、再生水の使用状況



(3) 2009-2016 年排水量状況



(4) 2009-2016 年 廃棄物の産出状況



(5) 大気検測結果排気状況

排放点	检测项目	单位	国家标准	北京市标准	自主管理标准	平均值 (AVE)	最大值 (MAX)
酸雾净化塔	硫酸雾	(mg/m³)	45	5	4.5	0.45	1.67
	氯化氢	(mg/m³)	100	30	25	1.76	6.81
	氰化氢	(mg/m³)	0.5	0.5	0.45	0.07	0.14
脱臭塔	氨	(mg/m³)	—	30	25	0.25	0.71
	硫化氢	(mg/m³)	—	5	4.5	0.06	0.1
一般排风	粉尘	(mg/m³)	120	20	18	2.54	9.2
	甲苯	(mg/m³)	40	12	10	0.07	0.16
	非甲烷总烃	(mg/m³)	120	20	18	1.47	3.02

16

17

社会貢献

2016 年我社は以下 2 つの分野で社会貢献活動を展開しました。

地球環境保護活動

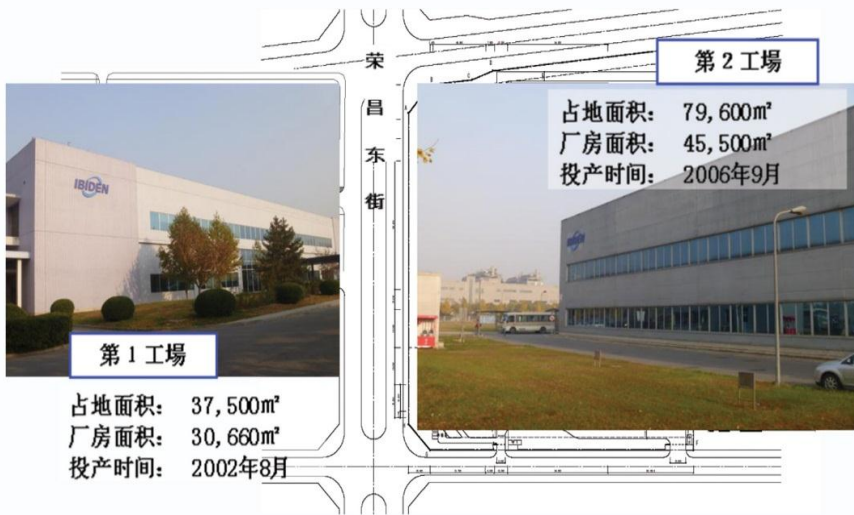


2016 年 4 月 9 日にイビデン（北京）社員及び家族約 130 人は初めて IEB 工場エリアで行った植樹活動に参加しました。活動の展開は社会責任を果たしただけではなく、工場 の環境も美化しました。

地域貢献—綱引き活動



2016 年 5 月 14 日にイビデン（北京）綱引きチーム（13 人）は開発区を代表して北京市の第 5 回の綱引き競技決勝大会に参加しました。激しい試合で競争相手に次々と勝って、向こうと 敵なし。強いプロのチームに面しても、粘り強く努力し、いつまでも諦めなくて、最後に第 2 位の良い成績を上げました。成績を上げただけではなく、スポーツマンの精神もしっかり表現しました。観衆に熱烈な拍手をもらって、開発区優秀組織賞を獲得しました。会社に榮譽を博して、綱引き活動の広め及び地域の体育文化建設でも重大な意味を持っています。



会社概要

会社名:	揖斐電電子（北京）有限公司 IBIDEN Electronics (Beijing) Co., Ltd.
所在地:	100176 北京经济技术開發区 荣昌東街 15 号
TEL:	010-67882288
FAX:	010-67872807
HTTP:	www.ibibj.com.cn
設立:	2000 年 12 月 25 日
企業性質:	日本 100% 独資
親会社:	イビデン株式会社 (IBIDEN CO., LTD.)
主要製品:	高密度高多層プリント配線板
投資総額:	USD268,000,000-
資本金:	USD 94,900,000-
董事長:	河島浩二 (MR. Kawashima Koji)
總經理:	袁 本鎮 (MR. Yuan Benzhen)
社員数:	1,600 名
	2017 年 3 月 31 日末現在



揖斐電電子（北京）有限公司
IBIDEN Electronics (Beijing) CO., LTD

邮编 100176 北京市经济技术开发区荣昌东街 15 号
TEL : 010-6788-2288 FAX : 010-6787-2807

18

19